

年 組 名前:

問1

ウナギのかば焼きが多く食べられる夏の

「土用の丑の日」は、今年は何月何日ですか。

「 月 日」

問2

ニホンウナギやシラスウナギが急減・激減している

理由を2つ挙げてください。

- 理由を2つ挙げてください。
.....
.....
.....
.....
.....

問3

「ウナギはAやBのように、卵から人工的に増やす

Cが実用化されていません。このままではDが心配

されます」。A~Dに入る言葉は何ですか。

- A 「 」
B 「 」
C 「 」
D 「 」

「土用の丑の日」ウナギがピンチ!?
食べ過ぎで減少 絶滅心配

しんちゃん もうすぐ夏の土用の丑の日ね。
ぶんちゃん 今年は7月28日だよ。ウナギのかば焼き、食べられるといいなあ。
ニュートン 栄養価が高い食べ物として古代から日本人に愛されてきたウナギだけど、数が急速に減って、絶滅が心配される種に指定されるまでになってしまったんだ。
ぶんちゃん ウナギが食べられなくなるかもしれないってこと?
ニュートン 日本にいるウナギはニホンウナギという種類で、以前は川に多くいたんだけど、1970年ごろから急減して今ではほとんど取れていないんだ。
しんちゃん 今お店で売っているウナギはどこから来ているの?
ニュートン みんなが食べているウナギのほぼすべては、日本などの沿岸に来る「シラスウナギ」と呼ばれる小さな若いウナギを捕まえて、池の中で育てたものだよ。中国などからも、かば焼きやシラスウナギを輸入しているんだけど、このシラスウナギの量も急速に減っているんだ。
しんちゃん どうして?
ニュートン 人間がウナギを大量に捕まえて食べ過ぎてしまったことが最大の理由だとされているんだ。川の途中にダムを造ったり、岸辺をコンクリートで固めたりしたために、ウナギが川をさかのぼってすみかを見つけるのが難しくなったことも、数が減った理由だよ。
しんちゃん 養殖はできないの?
ニュートン ウナギはマダイやブリのように、卵から人工的に育てて数を増やす「完全養殖」が実用化されていないんだ。日本人が食べるウナギは自然で生まれ育ったシラスウナギが元だから、これがいなくなったらウナギは食べられなくなってしまうよ。
ぶんちゃん 絶滅が心配されるまでになってしまったんだから、「安いウナギをたくさん食べたい」って考えるのは正しいことではないね。
ニュートン 専門家は「ウナギを『特別な日のごちそう』として、食べ過ぎないようにすることが大切です」と指摘しているよ。
しんちゃん 私たちの身の回りにある川の環境を守って、昔のような自然の川に近づける努力も必要ね。

(2021年7月15日付 山梨日日新聞 週刊こぴっと11面)

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します

Copyright © 2021 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.